

ひまわり

No.354号



福岡市早良区野芥4-19-34 FAX092-872-1137

TEL 092-872-1136ホームページ <https://www.drnino.jp/>ブログ <https://ameblo.jp/ninosakaclinic/>

芸術の秋 心癒され 耕して

この4月より、大阪でグリーフケア（グリーフとは深い悲しみ、悲嘆、苦悩のこと）研修を受けています。11月は研修前に神戸に足を伸ばし大ゴッホ展に行きました。2025年で阪神淡路大震災から30年、2026年で東日本大震災から15年の節目に、神戸・福島・東京で開催されているものです。

自然災害では、思いもよらないことが突然起こり、大切な人との別れがあったり、生活が一変したりします。この震災も大勢の方が大変なご苦労や深い悲しみを体験された大きなグリーフの出来事です。

私は豊かな自然の中でたくさんの恩恵を受けて育ってきました。小学生の時に糸島市（旧志摩町）で福岡県西方沖地震を経験しました。大きな揺れを感じ、ただただ不安だったことを思い出します。「どうしてこんなことが起きてしまうのだろう」「深い悲しみや大きな驚きを伴う出来事を前に、何ができるのだろうか」と幼い頃からぼんやりと考えていました。

11月の神戸は街並みがとても美しく、優しい雰囲気でした。出会ったみなさんから復興の歩みや気にかけ合う心も伝えて頂きました。そして、神戸市立博物館でゴッホの人生の歩みと共に絵を巡りました。自然に心を癒されたゴッホは、それに応えるように豊かな表現を試みました。絵を描きながら「自分たちに必要なのは陽気さ、幸福感、希望と愛だ」と生きる光を見つけていった画家だと知りました。人生にもがき苦しみながらも、その中で探求したからこそ出会った色彩や表現があるのだろうと感動しました。

私は今、自然を感じながら働けるこの環境にとても喜びを感じています。そして、この地域で暮らす皆さんにご縁を頂き感謝しています。自然や人との繋がり、その巡りを少しずつ日々の中で感じられるようになってから、そこで見えてきたのは『おかげさまの世界』です。この気づきは、私が大学病院を飛び出し、訪問診療に携わる中でもらった宝物です。

自分自身の経験から、大切に感じる人、物、環境がなくなったときにうまれるグリーフについて学びたいと思うようになりました。その出来事を大切に抱きしめながら、また歩き

出すには、どんなことが癒しや力になるのかと勉強しているところです。そんな中、芸術に触れ、自然に触れ、人々に触れて、言葉で言い表せない癒しや希望の力をもらった神戸でのひと時でした。

これからもご縁に感謝し、芸術や自然に癒された心を耕やしながら、看護に励みたいと思います。（看護師 古家）



10月11日(土)・12日(日)「第32回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会inなにわ」が開催され、全国各地から約570名の参加がありました。大会テーマは「地域のつながりで大事なもんってなんやろ?」これまで大事にしてきたこと・大切にしないといけないこと・これからも忘れてはいけないことなどをなにわの地で本音で語りあいました。

当院スタッフが口演発表や一部企画に参加しましたので、ご紹介します。



【口演発表】

「誕生日」～私たちが歌う意味～

終末期の患者さんに誕生日のお祝いをしたこと、「生きている意味」「人間の尊厳」「命に対する想い」等、沢山の気づきがありました。これをきっかけに在宅や外来患者さんに誕生日のお祝いをしています。患者さん・家族そして私達も元気になるから不思議です。(看護師 河崎)



【口演発表】

もっと広がれ在宅ホスピスの輪 ～学生と行った在宅ホスピスかるた 作成を通して学んだこと～

在宅ホスピスかるたの作成に至る経緯と制作過程を発表しました。発表後には「授業で使いたい」「経験者の言葉が心に響いた」など、多くの温かいお声を頂きました。皆様のお力添えのおかげで『在宅ホスピスかるた』を完成させ、発表できましたことを心より感謝申し上げます。(薬剤師 大江)



【世界ホスピス・緩和ケアデーイベント】

世界に学び、世界に発信する在宅ホスピス

多人種多文化の街ニューヨークで、長年在宅ホスピスの分野でスピリチュアルケアを実践してきた岡田圭さんと、理事長二ノ坂が、講演と対談を行いました。「人としてだれもが持っている尊厳を力づける」「多職種チームの全員で全体を見ていく、違う見方を学び合う」「医療が十分に行き届かない途上国ではマイナスからのスタート。その苦労から学ぶことが多い」という言葉が印象に残っています。緩和ケアに関する世界の現状を学ぶ姿勢・周囲へ伝える大切さを改めて認識しました。(ソーシャルワーカー 寺町)



【ホスピスボランティア部会】

「全国のネットワークづくり」日本全国、そして世界へ繋がろう！在宅ホスピス・ボランティア

今年は東北、関東、関西、中国地方、九州から参加があり、日本各地の皆さんと交流することができました。活動や特徴だけでなく、悩みや迷いも共有し、共に頑張っていきたいと改めて思いました。ボランティア部会では全国のネットワークづくりを行うため、オンラインでの井戸端会議(交流会)も予定しています。興味がある方はにのさかクリニックの寺町・植松へお声かけください！

(ソーシャルワーカー 植松)

今回2度目の参加でしたが、全国にボランティアのネットワークが広がっていることを実感できました。北部九州の参加団体が多かったことで、活動が盛んな地域を更に盛り上げられる一員になりたいと強く感じる大会でした。(言語聴覚士 高村)



当院では、2014年より近隣の病院から研修医の受け入れを継続的に行っていきます。毎月1~2名の研修医が、ひと月という短い期間ではありますが、一緒に外来診療や訪問診療を行いながら、在宅医療の現場を体験します。研修医たちの感性や視点は、私たちスタッフにとっても良い刺激になっています。

～研修医のレポートより 当院の研修で学んだこと～

急性期病院での患者さんとの関係は、限られた入院期間の中で、“病気と今の状態”に焦点を当てて考えることが多いです。一方で在宅医療の現場では、患者さん本人だけでなく、周囲で支えている家族の思いが深く関わってくることを強く感じました。

その人のこれまでの生き方や価値観、家族と過ごした歴史や生活背景などを理解し接することで、初めて本人と家族が納得できる医療が成り立つということを学びました。

1ヶ月間の研修で数多くの貴重な経験をさせていただきました。にのさかクリニックで学んだことや感じたことを忘れずに、患者さんやご家族の思いを尊重し、一緒に考えていくような温かい医師を目指したいです。



寒い季節の過ごし方

小さなたねだより

地域生活ケアセンター小さなたね 看護師 小泉

小さなたねだより TANE

長く暑い夏が終わり、秋らしい秋もなく冬になろうとしています。小さなたねではこの季節の変わり目に体調を崩される方が多く、外出する機会が減ってしまいます。

11月は室内での活動をメインとし、アロマの香りを感じつつ大画面で海の様子を見たり、ゆっくりとキラキラした動きを見ることができるボトルを眺めたりして、暖かい部屋で五感を通して色々なものを感じる優しい時間を過ごしていただいている。

忙しい年末、皆様も暖かくお過ごしくださいね。来年も小さなたねをよろしくお願ひいたします。



※了解を得て、小さなたね利用者さんの写真を掲載しています。

Event 催し物・イベントのご案内

クリニックからのお願い

感染症対策 ～発熱時の受診について～

発熱もしくは風邪症状のある方は
お車の中で待機していただくか
こちらが指定した時間に
受診していただくことで
発熱や風邪症状のある方との接触を
できる限り避けるようにしています



発熱または風邪症状のある方は
まずはお電話にてご相談ください
受診できる時間や受診する方法について
ご案内いたします

にのさかクリニック
☎ 092-872-1136

症状や経過によっては、
他の医療機関へ受診をお願いする場合があります



定期の受診、その他の症状で受診される方は
できるだけ12時までの受診をおすすめします

皆様のご理解とご協力を願いいたします

年末年始のお知らせ

12月28日(日)～1月4日(日)
休診です

年末の外来診療は12月27日(土)まで、
年始は1月5日(月)から通常診療です。

年末年始に受診の際は、お手もとの薬の
残数など、しっかりとご確認ください。
また在宅で訪問診療中の患者さんや
急を要する患者さんには、
できるだけ対応いたします。
よろしくお願いします。



予防接種について

インフルエンザ予防接種

今年も当院では、インフルエンザ予防接種を行っています。詳細はお尋ねください。

予約は不要です

・65歳未満の方
接種料金：3,800円

月・火・木・金曜日
午前中(祝日前日を除く)

・高齢者のインフルエンザ予防接種
個人負担金：1,500円

期間：令和8年3月31日まで

対象者：

福岡市に住民票があり、下記に該当する方。

① 65歳以上の方

② 60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能やヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害がある方。

(身体障害者手帳1級相当)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日		
9:00	午前	外来診療	訪問診療	外来診療					
13:00		昼休み		昼休み		訪問診療	休診		
14:00		訪問診療		訪問診療					
17~18:00	午後	※外来診療		※外来診療					

※ 午後5:00～6:00の外来診療は、訪問診療の都合により診療開始時間が遅れる場合や診療が
できないことがあります。診察をご希望の方は、事前にお電話いただけますと幸いです。